

徹底解説！ ここが変わった膵癌診療 新規約・ガイドラインに基づいて

膵癌は積極的な化学療法・化学放射線療法や外科的切除により治療成績が徐々に改善されつつありますが、転移再発は依然高率にみられ、消化器癌のなかでは最も予後不良です。このように集学的治療が不可欠である膵癌診療において、近年、大規模 RCT による新たなエビデンスの構築が進みつつあり、また取扱い規約や診療ガイドラインの改訂が行われるなど、新たな局面を迎えています。

本特集では、規約およびガイドライン改訂の要点、膵癌診療ストラテジーの最前線や外科治療のトピックスを新たな展開も含めて解説します。